



2018 PICK UP PLAYER

浜松ウイメンズオープン注目選手

Text: Akatsuki Uchida Photo: Yoshinobu Terao

TOP SEEDED PLAYER

第1シード

清水綾乃

98年生のエース!

清水綾乃 (しみず あやの)

今年20歳を迎える1998年生まれには、将来性豊かなフレッシュな顔が揃う。中でもトップを走るのが、この清水だ。ベースラインから放つストロークは、威力と安定感を兼備。今年はウィンブルドン予選、そして全米OP予選にも出場しグランドスラムの空気も肌身で体感した。来年さらに飛躍するためにも、今大会で頂点を狙う。

#hwopen



食らいつく

カウンターパンチチャー

今西美晴 (いまにし みはる)

人を安心させる笑顔に、はんなりした京都弁。オフコートではたおやかなその京女が、コートに立つと、とたんに負けず嫌いなファイターに豹変する。いかなるボールにも食らいつき、相手よりも一球でも多く返球するのが今西のテニス。最近ではそこに攻撃性も加わり、昨年は悲願の全日本選手権のタイトルを勝ち取った。

今西美晴



ナオミの

ポテンシャル

Naomi Cheong (ナオミ・チョン)

近い未来の、テニス界のスター選手になるポテンシャルを秘めた16歳。台湾系アメリカ人で、日本にも練習拠点を持つ。昨年の同大会では予選を勝ち上がり、本戦でもベスト4へと大躍進。父親曰く、「日本で練習するようになってから、謙虚さや努力の大切さを学んだ」という。ぜひ、その名とプレーを覚えて欲しい選手の一人だ。

NAOMI Cheong

SECOND SEEDED PLAYER

第2シード

ITF
Pro Circuit

繊細テクニシャン 小堀桃子

小堀 桃子 (こぼり ももこ)

清水綾乃と同期の20歳。二人は小学生時代から知る仲で、切磋琢磨し世界の舞台まで駆け上がってきた。強打を誇る清水とは対比的に、小堀の武器は、繊細なタッチから繰り出す多彩なショット。プロ転向後、実戦経験とフィジカルの強さも急激に獲得しつつあるテクニシャンの、試合巧者っぷりに注目して頂きたい。

SNSで大会を一緒に盛り上げよう！ 公式ハッシュタグ #hwopen

不屈のファイター 波形純理

波形 純理 (なみがたじゅんり)

年齢とは、単なる数字だと教えてくれる選手である。36歳になった今もまだ、第一線で活躍中。一時はケガも重なりテニスが嫌になりかけたことがあったが、その頃にツアーで出会った、テニスを楽しむベテラン選手たちの存在が変化のきっかけになったという。ベテランの妙味と、若々しさをブレンドしたプレーをご堪能あれ。

脅威のドロップ 荒川晴菜

荒川 晴菜 (あらかわ はるな)

まだ18歳ながら、浜松ウイメンズオープン参戦は今年で3回目。2年前には予選を突破し、ベスト4へと躍進した。「好きなプレーはドロップショット」と明言するほどに、相手の裏をかくプレーを得意とするテクニシャン。またその味わい深い技の数々は、ダブルスでも効力を発揮する。単複双方で、上位進出が期待される選手だ。

大会期間中の情報は随時更新！ 詳細はホームページをチェック！ hwopen.jp